

第3回 大阪市下水道施設維持管理審議会 議事要旨

日 時 令和8年2月3日(火) 午後2時00分～4時00分

開催場所 大阪市下水道科学館 5階 多目的ホール

出席者

(委員) 塩田委員、藤原委員、松島委員【会長】、茂原委員、米澤委員

(大阪市) 野村部長、間渕部長、大野課長

(事務局) 建設局下水道部施設管理課 田中課長代理、前田係長、藤本係長、尾鳥

議 題

(1) 審議会のスケジュール(資料3 P3～4)

(2) 調査審議事項

1) 5年毎の業務委託条件の見直し(資料3 P5～8)

①業務数量の見直しについて(管路施設)(資料3 P9～18)

②維持管理と一体的な更新に向けて(処理場・抽水所施設)(資料3 P19～23)

③評価基準値の見直しについて(資料3 P24～31)

④その他項目の見直しについて(資料3 P32～38)

2) 包括委託契約における課題等への対応

①受注者のインセンティブ(資料3 P39～41)

①-1 受注者の動機付け(資料3 P42)

①-2 管路施設(現契約に規定された制度の活用)(資料3 P43)

①-3 処理場・抽水所施設(処理場施設の電気代削減に向けた提案)(資料3 P44～47)

議事要旨

(1) 審議会のスケジュール

・特になし

(2) 調査審議事項

1) 5年毎の業務委託条件の見直し

①業務数量の見直しについて(管路施設)

・依然、施設の劣化に伴う第三者事故が発生しており、事故の未然防止に向けた調査を拡充すると理解した。

・ストックマネジメントの見直し時期の延期に関して、今後の目安を教えて欲しい。

・市民対応業務に対する判断を「検証時間が短く、次期尚早」としているが、市はどう考えているのか。

②維持管理と一体的な更新に向けて（処理場・抽水所施設）

- ・受注者が一括して実施することで効率化していくと理解した。
- ・地方公共団体では4月、5月の発注が難しいが、移管すれば平準化にもつながる。
- ・受注者の裁量権を増やすと、具体的に何を決められるようになるのか。
- ・業務範囲拡大について、受注者の受け入れ体制は整っているのか。
- ・業務効率化が目的なら、事業費削減の評価が必要となる。どのように算定するのか。
- ・民間の経営手法を導入しても、単独費の執行においてコスト縮減・収益性向上を図るのは難しいのではないのか。

③評価基準値の見直しについて（処理場・抽水所施設）

- ・評価基準値超過時の対応について、受発注者ともに負担軽減となる仕組みが大事。
- ・1σを考慮するにしても、降雨時のデータの除外が必要なのではないのか。
- ・4方面ととりまとめ部署の関係性はどうなるのか。

④その他項目の見直しについて

- ・コスト縮減効果を考慮した金額で委託契約を締結しているので、市としては、今後20年間、持続していくことが目標となる。
- ・下水道維持管理専門の株式会社を作ったのであれば、コスト大となる恐れがあったとしても、弾力的な経営となるよう、受注者の自由度を高めていく事が大事である。
- ・人件費の高騰について、たちまち受注者が困るという事態になっていないのか。
- ・契約当初のコスト縮減額はデフレ時代の設定であり、現状のインフレ状況を踏まえて、生産性のある議論をした方が良い。

2) 包括委託契約における課題等への対応

①受注者のインセンティブ

- ・受注者のインセンティブについては是非とも進めていただきたい。これまでのデータを活用してシミュレーションしてみてもどうか。
- ・市の改築更新による削減効果や合流式における雨の影響等、どういったときにインセンティブを認めるのか、ルールを整理する必要がある。
- ・対外的に説明できるように要因と結果を結び付けて評価する仕組みが必要。「何でもあり」と恣意的に見られないようにすべき。

その他

- ・市が行ってきた業務を受注者に移管するのは良いが、将来的なビジョンを教えて欲しい。
- ・インフラ事業は生活必需品であり、一定の収入の中でいかに効率的に維持管理していくかを考える事が重要である。

- ・受発注者ともに、事業継続に向けた官民連携としてお金を生む部分、やる気を生む部分をつくることが大事。
- ・常に「社会的に望ましい方向に向かっているか」ということを意識すること。

審議結果（見解）

○管路施設に対する業務数量の見直しについて

市提案の「事故未然防止に向け、調査点検を拡充する。」との方針が良い。
ただし、具体的な業務量を次回提案すること。

○処理場・抽水所施設に対する維持管理と一体的な更新について

市提案の「施設修復費・単独費を段階的に移管する。」との方針が良い。
ただし、修繕費の増額については次回以降の審議対象とする。

○処理場・抽水所施設に対する評価基準値の見直しについて

市提案の「過去実績の平均値に1σを考慮する。」との方針が良い。